

## 令和5年度授業力ブラッシュアップ研修会（小学校道徳）

授業力ブラッシュアップ研修会は、学習指導要領の趣旨や内容等に基づいた指導改善を図るため、モデル授業の提案を中心とした授業改善研修会を通して、教員の一層の授業改善・充実の促進に資することを目的に行われています。今号は、11月14日に一関市立萩荘小学校で行われた小学校道徳の研修会について紹介します。

### ～研究テーマ～

自分らしく思いを表出し、よりよく生きようとする子どもの育成

### ～授業改善の視点～

- (1) 育成する道徳性の諸様相を明確にした展開
- (2) 内容項目の4つの視点を意識した指導の工夫
- (3) 思いを表出させるための指導の充実（学習者による ICT 活用を含む）

### ～小学校道徳プロジェクトチーム～

|     |           |    |  |
|-----|-----------|----|--|
| 授業者 | 一関市立萩荘小学校 |    |  |
|     | 飯倉 優      | 教諭 |  |
| 支援員 | 一関市立興田小学校 |    |  |
|     | 佐藤 藍      | 教諭 |  |
| 支援員 | 一関市立千厩小学校 |    |  |
|     | 多田 優香     | 教諭 |  |

### 研究提案から

#### ★ 育成する道徳性の諸様相を明確にした展開

- ◆ 育成する道徳性の諸様相を明確にして、展開や発問が本時で育成を目指す諸様相と整合しているかを意識することが大事。
- ◆ 「何を育てるのか」に応じて、「どのように育てるのか」という方法を考えて授業を構想することが重要。

#### ★ 内容項目の4つの視点を意識した指導の工夫

- ◆ 子どもたち自身が、学習と日常生活との関わりを意識し、自己の生き方についての考えを深めることができるよう、「どのような関わりに関する学習なのか」を意識して指導の工夫をすることが重要。

#### ★ 思いを表出させるための指導の充実

- ◆ 子どもたちが思いを表出するためには、子どもたちの実態や教材、学習指導過程等に応じて指導方法を工夫していくことが必要。
- 学習者による ICT 活用の工夫
- 教材提示の工夫
- 表現活動の工夫

### 授業の様子から

#### ★ ねらい（道徳的態度の育成）

- ◆ 相手のことを考えて行動することの大切さや親切の形の多様さに気づき、困っている人に温かい心で接しようとする態度を育てる。  
(親切には様々な形があり、相手の思いや状況を一生懸命に考えて選んだ行動に価値があることに気付かせたい。)

#### ★ 学び合いたい指導の工夫

- ◆ 導入で、本内容項目に係る前の学習や実践活動を想起し、道徳科学習のつながりを大事にしていた。
- ◆ 教材文の範読の際、効果音を取り入れて臨場感をもたせ、状況を把握できるようにしていた。
- ◆ ロイロノートを活用し、自分の思いを「気持ちメーター」に色で生き生きと表現できるようにしていた。
- ◆ 「気持ちメーター」を生かして、子どもたちが役割演技を行い、思いを表出し、演技から学び合えるようにしていた。
- ◆ これまでの自分を見つめて書くことができるようにしていた。



### 講義から学んだこと

國學院大學 田沼茂紀 教授

- ◆ 1年間を見据えた意図的・計画的な道徳科授業を実現する。
- ◆ 1単位時間の道徳科授業構想を学習者主体の学びに転換する。  
(学習モデルのイメージ 「問い」 → 「学習課題」 → 「共通解」 → 「納得解」)

### 授業改善に向けて

#### <参加者の声（一部抜粋）>

- ◆ 育てたい諸様相に合わせて発問や展開を考えることが大切だと学びました。何を育てたいかを明確にし、指導していきたいです。
- ◆ ロイロノートで気持ちメーターを描かせ、それをもとに友達の考えを知る手立てにしていたのは参考になりました。
- ◆ 学級経営の素晴らしさを見ることができました。互いを認め合う雰囲気、先生との信頼関係に基づいた主体的な学び、子どもたちが一緒に学ぶことを楽しんでいる姿が見られました。